

準速硬性高強度一材型ポリマーセメントモルタル

一材型
EG
タイプ

フィックスTS・EG

(シックススペシャル・一材型イージータイプ)

フィックスTS・EGは、速硬性セメント、高炉スラグ、珪砂、繊維等とアクリルカチオン系特殊粉末樹脂を配合した、完全プレミックスタイプの繊維補強一材型ポリマーセメントモルタルです。作業効率及び高強度を重点に開発しており、一般コンクリート構造物の断面修復はもちろんのこと、高強度コンクリートの補修にも適しています。

特長

- ▶ **作業効率** 水と混ぜ合わせるだけの完全プレミックスポリマーセメントモルタルであり混練が容易で、十分な可使用時間を持ちながら硬化が早いので、次工程への待ち時間が少なく、効率の良い作業が可能です。
- ▶ **接着性** 接着性に優れた特殊粉末樹脂の適正添加により、液体樹脂と変わらぬ接着力が得られます。
- ▶ **施工性** ポリマーセメント特有のベタツキをなくしたためコテ塗り施工性に優れています。
- ▶ **適合規格** NEXCO断面修復材の品質規格に適合しています。

用途

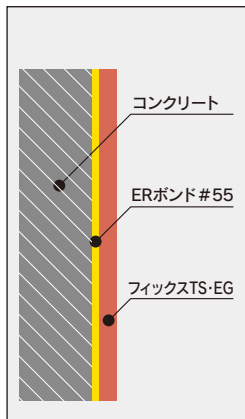
▶ コンクリート構造物の欠損部断面修復

▶ 壁・床面全面補修

配合及び材料使用量

標準塗厚		5mm以上	
配合		粉体	20kg
		水	2.6~3.1kg
材料塗厚別 使用量 (kg/m ²)	5mm	9.00	
	10mm	18.00	
	20mm	36.00	
	30mm	54.00	
	40mm	72.00	
	50mm	90.00	
練上り量		11.11 ℓ	
積算比重		1.800	
1m ² 使用量		1,800kg (90袋)	

● 施工図



● 荷姿

・粉体 20kg



■ ERボンド #55

種類		1.2kgセット	3.6kgセット	18kgセット
配合	主剤	1.0kg	3.0kg	15kg
	硬化剤	0.2kg	0.6kg	3kg
	使用水量	0.6kg	1.8kg	9kg
標準塗布量		0.15kg/m ²	0.15kg/m ²	0.15kg/m ²
施工面積		8m ²	24m ²	120m ²
はつり面塗布量		0.20kg/m ²	0.20kg/m ²	0.20kg/m ²
施工面積		6m ²	18m ²	90m ²

注：標準塗布量に水は含まれておりません。

ERボンド #55 [新旧打継用エポキシ系接着剤]

● 荷姿

・1.2kgセット

・3.6kgセット

・18kgセット



施工要領

1. 下地処理

脆弱部や付着物の除去、亀裂処理等断面修復材の性能が低下しないように充分な下地処理を行う。

2. プライマー塗布

下地とフィックスTS・EGとの接着を高めるため、ERボンド #55を塗布する。

塗布量 原液換算 0.15~0.20kg/m²

フィックスTS・EGの塗り継ぎで下層が硬化した場合も同様にERボンド #55を塗布する。ただし、表面が乾燥色※になるまでは、ERボンド #55を使用せずに塗り継ぐこともできる。この場合は、塗り継ぎ面を粗仕上げにし、塗り継ぎ時は十分にコテ圧をかけて材料を擦り付ける。

※乾燥色とは表層部の水気が失われ白っぽくなった状態のこと。硬化後1.5~3時間程度。硬化時間が早いほど乾燥色になるのも早い。

3. 混練

規定量を計量し、ハンドミキサーやモルタルミキサーで混練する(低速ミキサー推奨)。攪拌時間の目安は2~3分程度※とする。材料が均一になったら過度の攪拌はしない。

※低速ミキサー使用、混練量1/2~1セット以上の場合。攪拌時間はミキサーの種類、回転数や混練量等により調整して下さい。

4. 塗り付け

ERボンド #55に糸を引くようなタックが出た段階で、フィックスTS・EGを塗り付ける。深い凹部がある場合は、先にその部分を充填する。薄く塗り付けた後に所定の厚みに塗り付ける(1層の厚みは最大20mm)。モルタルの締り状態を確認し、適宜に金コテを用いて表面を平滑かつ緻密に仕上げる。

5. 養生

雨水や直射日光を避けて1日以上養生する。

■ 使用上の注意

- ・ご使用に際してはSDS (安全データシート) をよく読んで下さい。
- ・製品は直射日光、湿気を避け5~35℃で保管して下さい。
- ・低温時、施工、養生中に5℃以下が考えられる場合は凍害防止のため採暖を行って下さい。
- ・高温時、練上がり温度は35℃以下(望ましくは30℃以下)になるように冷水等で調整して下さい。
- ・長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- ・混練に高速ミキサーを使用した場合は、エアの巻き込みにより強度が低下することがあります。
- ・攪拌が不足すると、再乳化しない粉末樹脂が多くなり、性能が低下します。粉末樹脂が再乳化するには20~30秒程度かかりますので、少量の混練においても1分以上(低速ミキサーの場合)攪拌して下さい。粉末樹脂が再乳化すると水を投入しなくても再乳化前より材料が軟らかくなります。
- ・混練にアルミ製の羽根は使用しないで下さい。
- ・練り水は水道水水質と同等のものを使用して下さい。不純物が硬化時間等に影響することがあります。
- ・一度練った材料の練り返しはしないで下さい。
- ・開封した製品は、即日中に使い切るか、余った場合は、ビニール袋等に密封し、開封後一週間以内に使用して下さい(性能低下の恐れがあります)。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

性能

項目	材 齢	試験結果	試験方法
圧縮強度 (N/mm ²)	1日	16.2	JIS A 1171(ポリマーセメントモルタルの試験方法) 温度20℃
	7日	35.4	
	28日	55.7	
曲げ強度 (N/mm ²)	1日	3.8	JIS A 1171(ポリマーセメントモルタルの試験方法) 温度20℃
	7日	7.8	
	28日	10.8	
接着強度※ (N/mm ²)	7日	2.3	建研式 温度20℃
	28日	2.7	
硬化収縮率 (%)	28日	0.05	NEXCO断面修復材料(左官工法) 硬化収縮性試験方法
熱膨張係数 (/℃)	28日	1.3×10 ⁻⁵	NEXCO断面修復材料(左官工法) 熱膨張性試験方法
静弾性係数 (KN/mm ²)	28日	24.7	JIS A 1149(コンクリートの静弾性係数試験方法)
透水量 (g)	28日	1.2	JIS A 1404(建築用セメント防水材試験方法) 水圧及び時間:0.3MPa×1時間
磨耗量 (g)	28日	1.5	JIS K 7204(磨耗輪による磨耗試験方法) 輪荷重:1kg 磨耗輪:H-22 1000回転
表面水分量 (%)	1日	7.5	高周波容量式水分計 塗り厚20mm:温度20℃
	3日	4.1	

※ ERボンド #55使用

注)上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

● 本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。
- ・しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は、予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社
EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

● 本社・工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
● いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
● 大阪支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原5-1-3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
● 福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
● 関東・東支店	〒340-0055	埼玉県草加市清門1-248-3	TEL (048) 951-1987	FAX (048) 951-1988
● 仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
● 名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
● 札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
● 盛岡営業所	〒020-0838	岩手県盛岡市津志田中央3-6-11	TEL (019) 681-9531	FAX (019) 681-9532
● 新潟営業所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
● 関東・北営業所	〒320-0056	栃木県宇都宮市戸祭2-5-5	TEL (028) 680-6313	FAX (028) 680-6323
● 関東・西営業所	〒224-0064	神奈川県横浜市都筑区平台19-24	TEL (045) 306-6200	FAX (045) 949-2015
● 静岡営業所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
● 北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
● 神戸営業所	〒652-0032	兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-75-1	TEL (078) 599-6630	FAX (078) 599-6631
● 広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
● 北九州営業所	〒807-0801	福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1	TEL (093) 616-8470	FAX (093) 616-8471
● 熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
● 鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
● ㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜5226-13	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2532
● ㈱エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1408-1	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230